

議会だより 遠野

No. 75

令和5年10月

〔発行〕

遠野市議会



Facebook



マチイロ



9月定例会

主な内容

- ◆ 9月定例会概要 P2
- ◆ 決算特別委員会
予算等審査特別委員会 P3
- ◆ 一般質問 11人市政を問う P7
- ◆ どうなった？あの提言 P19
- ◆ 議会だよりリニューアル
アンケート調査結果 P21



遠野ふるさと村で大府市の子どもたちが やまめのつかみどり

8月22日から3泊4日、児童交流事業で
愛知県大府市の小学生20名が遠野小学校の児童と交流など行いました。

市内県立高校の入学者増加へ
高校魅力化化サポート事業



各プロジェクト活動の報告会の様子



遠野高校と遠野緑峰高校への入学者数拡大のため、「高校魅力化サポート事業」で、さまざまな活動支援を行っています。

主な取り組みとして、学校紹介パンフレットやPR用動画の作成、各プロジェクト活動への補助金による支援、また、県外からの留学生確保のため、オンラインによる説明会の開催や東京で開催されたイベントに参加して、全国の中学生や保護者に学校紹介を行いました。その他、公共交通機関の通学費半額補助により、保護者の経済的負担の軽減に取り組んでいます。

定例会では、令和4年度の事業成果や今後の入学者数増加に向けた取り組みについて、活発な質疑を行いました。

質疑の詳しい内容は、P3をご覧ください。

9月定例会の概要

令和5年9月定例会を、8月29日から9月14日までの17日間の会期で開催し、一般質問は11人の議員が市政を問いました。

市が提出した案件は、全17議案で、条例2件、決算関係8件、令和5年度補正予算関係5件、その他2件を審議し、すべて原案のとおり可決・認定・承認しました。



請願

◆請願第1号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

〔請願者〕

岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長 平野 薫ほか1名 (一部採択)

◆発議案第3号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹の発症予防に有効なワクチンが高額であることから、助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を求める。

この意見書については、反対、賛成それぞれの立場から討論が行われました。

《反対討論》

佐々木 恵美子 多くの研究者が、近頃の带状疱疹は新型コロナウイルスワクチン接種が起因と発表し、双方のワクチン接種リスクと接種は慎重にと述べている。市民に健康被害が

《賛成討論》

新田 勝見 80歳までに3人に1人が発症すると言われている。症状は、体の激痛で日常生活にも支障が出る。ワクチン接種が最善の策だが、接種費用が4万円と高額であり、その対策が必要である。

◆発議案第4号

計画的な教職員定数改善の確実な推進を求める意見書

教職員の長時間労働の是正は進んでおらず、また学級担任以外の教員が配置されていない学校もあり、年次

休暇取得も厳しい状況にある。ゆたかな学びや教職員の働き方改革を実現するため、教職員定数改善の推進を求める。

8月臨時会

一般会計補正予算第3号を可決しました。

- ・ 8月12日発生豪雨被害等に係る災害復旧予算
- ・ 白岩児童センターの新築整備に係る予算



8月臨時会

賛否の公表

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載しています。

議案名		議案名															
発議案第3号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について																
議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
議員氏名	千田 由美子	菊池 美之	菊池 忠信	昆 明美	宮田 勝美	小松 正真	佐々木 恵美子	菊池 浩士	佐々木 敦緒	小林 立栄	菊池 美也	瀧本 孝一	菊池 由紀夫	佐々木 大三郎	新田 勝見	荒川 栄悦	
発議案第3号	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対、-は棄権となります。審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。

決算特別委員会・予算等審査特別委員会



少子化に負けない
高校魅力化を

◎ 高校魅力化サポート事業の成果は。

◎ 地域みらい留学への参加や、市内高等学校の通学費補助など魅力化の発信や支援をしてきた。令和4年度は、県外より3名の入学があった。

◎ 地域みらい留学やPRで工夫していることは、地域みらい留学では、オンラインでの参加者が多かった。PR用動画は、それぞれの

学校の生徒が指導を受けながら制作にあたり、パンフレットや動画の作成など先進事例を参考に、さらに魅力あるPRに取り組んでいく。

また、保護者のみの説明会も開催している。

◎ 高校の魅力化への今後のサポートは。

◎ 通学補助だけでなく、未来づくりサポート大作戦として、塾という形で学力支援していく。また、下宿等から通学する生徒の保護者と、生徒を受け入れる下宿経営者に対して補助する。

ひとこと

高校の魅力化は、まちづくりとの連携が必要なのではないか。交通費支給も利用している人のみで、自分は仕事の都合上、送迎しているので対象にならない。それよりは教材費などに補助してほしい。近くに店（コンビニ等）もないので、売店、学食などあれば助かる。



千葉 豊さん (達曾部)

耕作放棄地 ゼロへの取り組みは



かつて田んぼとして活用されていた農地

問 耕作放棄地をパトロールしているはずだが、その後、所有者への指導や管理は。

答 耕作放棄地となる可能性がある場合は、所有者に確認し農地活用の意向調査もしながら登記の部分も含めて指導している。国の法改正により、地域計画を令和7年3月までに作成することが決まっている。地域との合意形成を図りながら進めていく。

問 耕作放棄地を抑止する取り組みが必要では。

答 農家組合や農業法人などに耕作をお願いするよう仕組みづくりが必要。再生可能な遊休農地と再生困難な遊休農地など段階があり、段階ごとに早めの手を打っていく。また、地域で土地利用を考えていくことも大事である。

※地域計画

地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するもの。



菊池 洋人さん
(小友町)

ひとこと

耕作放棄地をなくすのは難しい。後継者がいなくなっているところも多い。営農組合などあっても高齢化しているので、10年もすれば、耕作放棄地がもっと増えてしまうのではないかと思う。1ターンなどで就農してくれる人を少しでも増やす方向にしてほしい。

危険な空き家を 増やさないために



空き家を増やさない取り組みが必要

問 令和4年度の空き家対策事業の評価は。

答 空き家相談会を11月に開催し、12件の相談があった。建築士、司法書士、宅建士、担当課職員4名で対応した。住民の安心安全を提供できた。

問 特定空き家の認定に至る判断は。

答 チェックリストに基づき調査し、空き家対策本部会議に報告、意見を伺い、特定空き家と認定をしている。

問 現在特定空き家の物件数は。

答 令和5年3月のデータで、空き家全体が約900件、その内18件が特定空き家である。

問 今後の特定空き家件数の見通しは。

答 人口減少や、一人暮らしの高齢者が施設に入所する等により、空き家が増えると思われる。

※特定空き家とは
倒壊や、衛生上有害となるおそれのある状態の空き家

ルールが変わる ふるさと納税



遠野市ふるさと納税

問 ふるさと納税の委託料が増加した要因は。

答 ふるさと納税額が昨年同月比で2倍のペースで推移していることから、返礼品発送など関連業務の委託料を増額した。

問 ふるさと納税のルールが10月以降に変更になるが、変更の内容と影響は。

答 総務省が定める、ふるさと納税基準のルール改正により、地元産原材料の規制や、加工のルール等が厳しくなる。

遠野市の返礼品の中で指摘されているのが

〈制度変更後の返礼品の取り扱い〉

該当	・遠野産ホップのみ 使用のビール ・ジンギスカン
非該当	遠野産ホップを一部 使用のビール

(9月29日現在)

問 現在、ふるさと商社と体験型商品など協議して進めている。

答 ビールとジンギスカンだが、現時点(9月12日)で除外というわけではない。

問 もし、除外となつた場合の対策は考えているのか。

答 現在、ふるさと商社と体験型商品など協議して進めている。

市役所の各種手続きが オンライン化

問 具体的にはどのようなことか。

答 申請書の提出など紙による手続きを、パソコンやスマートフォンを利用し、オンラインによりいつでもできる仕組みを作る。今年10月から順次取り組みを進めていく。

問 パソコン等がないため、オンライン手続きができない市民はどのようなのか。

答 窓口での手続きは

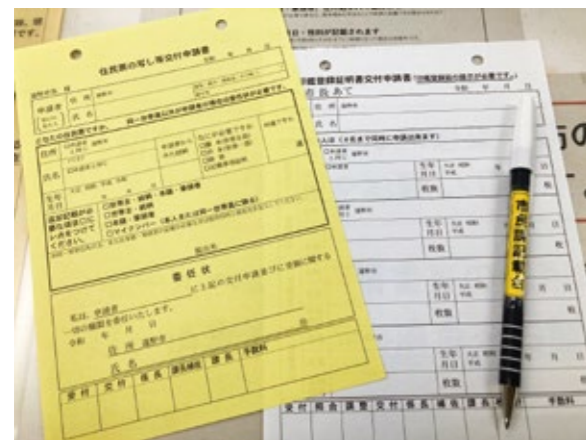
今までもおり継続していく。

問 オンライン手続きを行う中で、個人情報の管理は万全か。

答 非常に重要なことであり、担当課だけでなく全部署で慎重に取り扱う。

問 各種オンラインサービスの提供開始について、市民への周知方法は。

答 ホームページだけでなく、遠野テレビや広報誌等、いろいろな方法で細かいお知らせしている。



現在の窓口での申請書

遠野市内企業のお仕事を紹介



人材確保が期待される遠野しごと展

問 令和4年11月に市内企業人材の確保事業として開催した「遠野しごと展」の参加者数は。

答 2日間で575名が参加した。市内参加者が70・6%であり、3割弱の方が市外からの参加者であった。

問 中学生や高校生の参加はあったか。

答 家族連れが多かったと思うが、令和5年度は高校生にも参加の機会を作るよう高校側と調整を進めている。

問 令和4年度に市外から就職した方は何名か。

答 市が関わり、市外から市内に就職した中途採用者は26名だった。市外から遠野に移り住んで、働いてもらうための事業を今後も進めていきたい。



産前・産後を

安心して過ごさせるように



宿泊施設を利用した産後ケア



問 妊産婦のあんしんサポートにどう取り組んだのか。

答 安心して妊娠期を過ごし、育児ができるように産前・産後のサポートに取り組んでいる。

産後のケアは、助産師が向いて指導するアウトリーチや、助産院でのデイサービスに加えて、令和4年度からは宿泊施設を利用したケアにより、産後の

休息支援を行っている。

令和5年度からは、全妊婦を対象に通院費や待機宿泊費の助成により経済的支援を行っている。

問 事業の課題は。
答 宿泊施設を利用したデイサービスは好評だが、6・9月の観光シーズンは宿泊施設が混み合うことから、調整が必要な状況である。

問 令和4年度の利用実績が、計画値を大きく下回った要因は。
答 12月補正予算の成立後、遠野テレビ等で周知したが、周知不足だった。今年度は、実施時期と周知を少し早めながら取り組みたい。

事業を活用したい。また、各地区に配置している丸ごと相談員のネットワークも活用し、実際に必要な方を掘り起こしながら進めていきたい。

高齢者湯治場モデル事業 令和5年度も継続へ



たかむろ水光園のお風呂

※生活支援ハウスとは
高齢等のため自立して生活することに不安のある方々に対して、介護支援機能居住機能及び交流機能を総合的に提供します。(利用要件に合致するか審査あり)

問 冬季間の在宅生活が困難となった高齢者など、必要な方が利用できる取り組みを。
答 ※生活支援ハウスの申し込みが予定の部屋数を上回っており、本

新たな福祉サービスの創造が目的であり、対象者を絞った形で実施をして検証したい。

問 高齢者全般の健康増進や地域活性化も考慮して取り組むべきでは。
答 新たな福祉サービスの創造が目的であり、対象者を絞った形で実施をして検証したい。

令和4年度 「遠野の未来に向けた 開拓予算」 その評価は

問 市として総括は。
答 人口減少、少子高齢化、コロナ禍の状況の中で、事業費の見直しや国・県と連携して財源調整をしながら事業を進めてきた。財源なくして政策なしの財政運営の基本原則を守りながら、総合計画後期基本計画の着実な推進と、将来に向けての持続可能な財政運営を念頭に置きながら取り組んだ。

等への入込数、ふるさと納税が大きく増えた理由は。
答 こども本の森遠野の入館者数や、中心市街地の活性化策の効果と判断している。また、地域資源を活用した観光商品が開発された。ふるさと納税の返礼品にも反映され、様々なプロモーションにも取り組んだ結果である。

問 新型コロナウイルス感染症・物価高騰への市の対策は。
答 タイミングを逸しないよう、職員一丸となり、ベストに近い形で取り組んだ。



遠野の未来を望む

一般質問

11人の議員が市政を問う!

QRコードをスマートフォンで読み込むと一般質問の動画を見ることができます。



千田 由美子 議員

- ・遠野の観光振興のこれから
- ・いじめ防止の取り組み

P 8



菊池 美之 議員

- ・防災意識を高めるための取り組み

P 9



菊池 忠信 議員

- ・売れる米作りの取り組みは
- ・畜産クラスター協議会とは

P 10



小林 立栄 議員

- ・生きがいのある長寿社会へ
- ・GIGAスクール構想推進

P 11



菊池 美也 議員

- ・釜石線の存廃
- ・戦没者慰霊碑の維持管理

P 12



小松 正真 議員

- ・遠野ふるさと商社・公社に

P 13



佐々木 敦緒 議員

- ・高齢化社会の介護の在り方
- ・危険な道路改修の必要性

P 14



昆明美 議員

- ・農業生産額の回復を目指した取り組みは

P 15



宮田 勝美 議員

- ・大型化する豪雨災害への備えは

P 16



新田 勝見 議員

- ・遠野市の特産品について
- ・営農組合の組織化は

P 17



佐々木 恵美子 議員

- ・今後の子育て支援の行方は

P 18



菊池 美之 議員

防災意識を高めるための 取り組みは

市長 自助・共助・公助の在り方を
市民と一体になって求めていく

問 防災については、日頃からの意識醸成と発災時の的確な情報伝達体制が重要となるが、市長の考えは。
市長 まず日頃から、災害時には自分がどう行動するかを意識していただくこと。避難先についても市民は普段仕事をしており、居住地域だけの避難所把握では不十分だと思う。分かり易く示していく必要があると考えてい

問 自主防災組織地区別研修会が開催されたが、参加者の反応は。
市長 防災のためには地域のコミュニティが重要になる。今年には199名の参加となったが、組織の高齢化、人員不足により、対策班編成や避難行動要支援者への対応について、災害時に十分な取り組みができるか不安だという声をいただいている。
この不安を解消し、自助や共助の取り組みを強化していくためにも、避難訓練や研修会は重要だと改めて思う。

る。さらに考えなければいけないのが、すべての電源が落ちた時、何の伝達ツールも生かない。大惨事が起きるのはそんな時が多い。あらゆる状況に備えるために、訓練、そして考える力が重要で、家族で「こういう場合はどうする？」といった相談を時々していたら、命を守る行動が本当に有効になっていく。
問 自主防災組織と消防団の連携についてはどうあるべきか。機

能別消防団員を地域ごとに採用し、自主防災組織の活動を支援し、消防団との連携を促す仕組みづくりができないか。
市長 自主防災組織と消防団の連携は大変重要なことである。組織としての垣根、枠を柔軟にして危機に備える。このことがコミュニティの中で良好な関係を築き、地域力も向上していくものと思う。この提案を参考にして防災に取り組んでいきたい。



遠野市公式 SNS



遠野市公式 LINE



遠野市公式 X (旧Twitter)

市からのお知らせや防災情報を確認できます。

解説

自主防災組織とは
市民が相互扶助の精神に基づき、地域における自発的な防災活動を行うための組織をいう。(遠野市防災基本条例 第2条第5項及び第8条)
機能別消防団員とは
常に地域防災の要として活躍している既存の消防団員を基本団員と言いつのに対して、大規模災害時の災害対応活動や後方支援活動など市長が定める特定の職務に限り従事する団員をいう。(遠野市消防団に関する条例 第4条第2項)

遠野市の観光振興の これからを問う

市長 DMOは遠野にある観光の能力、頭脳を集約させた
しっかり観光に取り組む

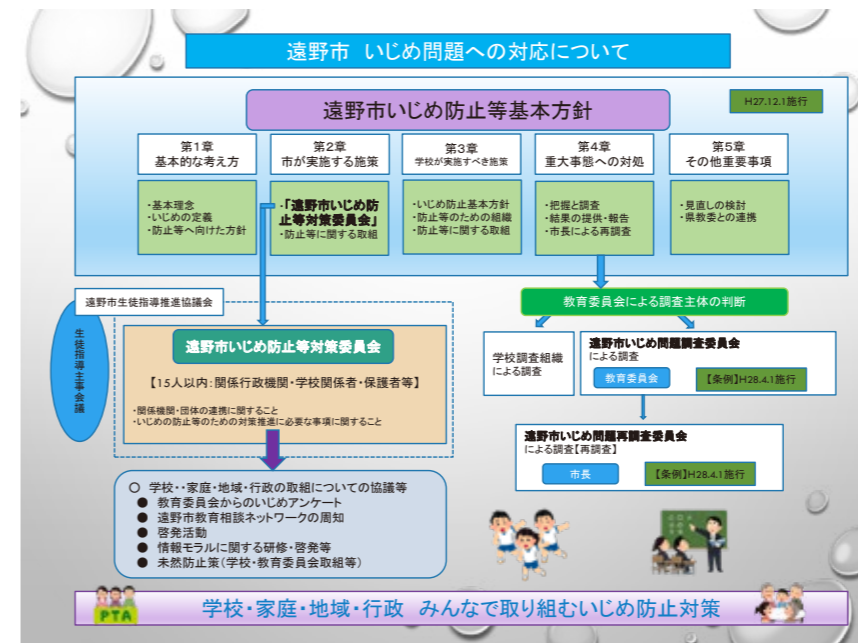
問 SL銀河の再開に向けての取り組みや、SL銀河に代わるものへの取り組みは。
市長 JRからの説明では、客車に問題があり、現在においてSLの再開計画はない。仮にSL銀河を動かす場合は、メンテナンスの行き届いた形で保管をしたい。新たな観光列車として、「ひなび」という話があった。当市として、SL銀河依存ではない観光を考えなければならない。



運行終了が惜まれるSL銀河

問 祭りイベントにおいての露店商が少なくなっている要因は。
市長 今までは一般の人が出店したくても出来なかった。市民の方々も、しっかり出店できる体制にするため公募という形にした。
問 もっと議論し、説明すべきだったのでは。
市長 公平に市民に出店していただくためには市内在住とあるが、

他市に配布されていたが。基本的には市内を優先するということがある。
問 こども本の森遠野を観光資源としての活用への考えは。
市長 有効に中心市街地活性化をし、攻めの観光という形を作っていききたい。
遠野市の「いじめ防止」への取り組み
問 いじめ防止への取り組みは。
教育長 小学校、中学校とも、増加傾向にある。いじめは大人の目の届かないところで起きてくる。SNSによるトラブルも報告が上がっている。情報モラル教育に取り組み、各家庭には見守りをお願いしている。
問 条例制定へ向けて取り組むべきでは。
教育長 現段階としては、いじめ防止に係る条例制定は考えていない。



解説

情報モラル教育とは

情報社会で適正な活動を行うための考え方と態度を身に付ける教育のことです。具体的には他者への影響を考え、自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、危険回避のため情報を正しく安全に利用できること、情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することなどです。

いじめ防止条例とは

地方自治体の条例であり、学校や社会福祉施設にいじめ等を把握した場合の対策義務及び自治体への報告義務を規定しています。この条例制定により市全体でいじめ防止に取り組む地方自治体もあります。



小林 立栄 議員

生きがいのある長寿社会へ

市長 個性と人格を尊重しつつ 地域ぐるみで進める

市長 高齢になっても働き続けることは一般的になつてきたが、仕事探しをしても結果が出ない方も多い。高齢者の就業について、相談対応や、事業者とのマッチング支援の充実が必要ではないか。

市長 ハローワークやシルバー人材センター等と協力体制を密にして進めたい。また窓口を増やしていきたい。

市長 ※ポランティアポイント制度の導入を。

市長 マイナンバーカードの有効活用と合わせて検討してもよいのではないか。

市長 本人が希望する人生を全うするため、神奈川県横須賀市が取り組んでいる※エンディングプラン・サポート事業や※終活情報登録伝達事業のように、具体的な終活支援に取り組む必要は。

市長 成年後見制度の周知や全国各地の事例も参考に組みまなければならぬ。

市長 身寄りのない頼れる人が見つからない単身世帯の増加を見据

市長 必要な役割もあるが、制度のあり方や方向性を検討したい。

市長 ※ポランティアポイント制度は高齢者が高齢者施設などで、入所者の話し相手や散歩の補助、行事の手伝いといった介護ボランティアに参加するとポイントが付与され、商品券などと交換できる仕組みで、介護支援のボランティア活動を通じて、地域の支え合いの関係を促す取り組み。

市長 え、市営住宅入居への連帯保証人を廃止するべきでは。

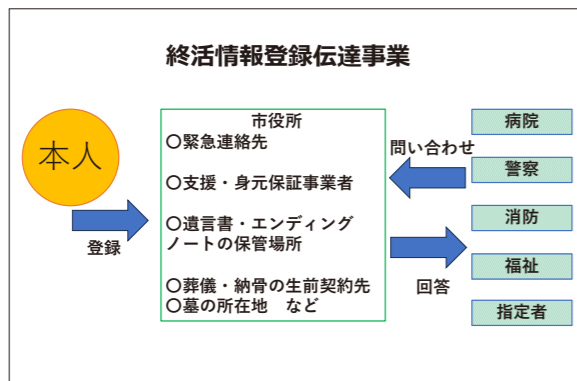
市長 GIGASCHOOL 構想の推進を

市長 一人一台端末の積極的な活用が必要と考えるが、本市の現状は。

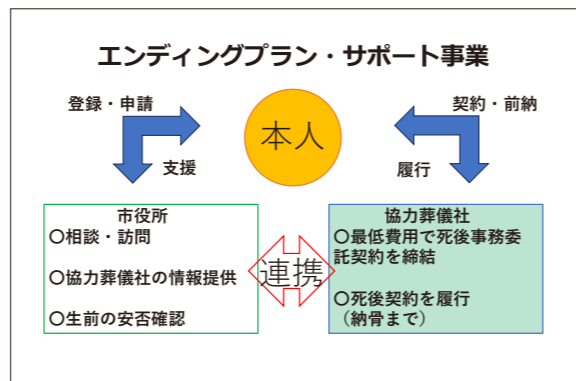
市長 令和5年度の全国学力学習状況調査のICTを活用した学習状況について、ほぼ毎日と回答している割合が全国や岩手県の数値を大きく上回っている。児童生徒の個別最

解説

2030年には、単身高齢世帯が800万世帯に。一人暮らしの方が、人生の最後まで安心して過ごしていただくための取り組みが、特に必要になつてきます。



※終活情報登録伝達事業
利用者は、市に11項目の情報（緊急連絡先やエンディングノートの保管場所、墓の所在地など）を登録し、亡くなった後、警察や医療介護などの関係先や本人が指定した方からの問い合わせに対して、市が本人に代わって登録情報を伝える。



※エンディングプラン・サポート事業
利用者は、市の協賛葬儀社と生前契約をして費用を預け、亡くなった後は、市と協賛葬儀社が連携して葬儀や納骨を行う。

遠野市が取り組む 売れる米づくりとは

市長 新たな販売ルートを持ち、特徴をもったブランド化が必要だ

市長 本市における主食用米、飼料用米の推移は。

市長 市内主食用米の令和5年作付面積は、令和2年当時と比較して約300ヘクタール減少の見込みだ。反面、飼料用米は令和2年が81ヘクタールの増加、令和5年見通しでは266ヘクタールまで増加しており、このことからみても、主食用米の減少分が飼料用米に転化している状況だ。

市長 これからの重点品種は。

市長 販売単価と安定した収量が見込める品種は銀河のしずくになる。県内全域で推奨されていることから、本市としても一定の生産量を確保していきたい。今後は適地拡大に向けてJ Aと協力して取り組んでいく。

市長 県内の米どころでは積極的な販売戦略に力を入れている。遠野産米を必要とする実需者、消費者との繋がりを更に強化した本市の戦略は。

市長 これまでの継続

したトップセールスは欠かせない、更に産地間競争に勝つには、土づくりを主体とした自然栽培や低農薬栽培などをネット販売等で特徴をアピールする時代だ。加えて、生産者の生産意欲向上のために、経営体制や新たな集団を後押しすることが重要と考えている。

市長 本市における米生産の安定的供給基盤の施設として重要な役割を果たしているJ Aのカントリーエレベーターが、2基ともに稼働から24年以上経過し、老朽化により修繕が大きな負担となつている。更新等に対する本市支援の考えは。



JAいわて花巻 遠野カントリーエレベーター（青笹町）

市長 積極的に協議していくことが第一と思つている。市もJ Aも、農家を対象にした様々な経営に取り組んでいく。お互いが話し合い、解決に向け、投資が必要であれば行うということを決めていかなければならない。

市長 遠野市畜産クラスター協議会の役割は

市長 協議会の役割は。国、県と連携し、本市畜産振興をより強固にしていく組織だ。

市長 具体的な取り組み内容は。

市長 牛舎等の施設整備や機械導入、増頭



荒川牧場 放牧風景

対する奨励など、国のクラスター事業を活用した畜産振興が可能と考えている。

市長 畜産経営アウォーディングとの関連は。

市長 アクションプランに掲げている、粗飼料自給率向上対策等を、クラスター計画で具現化するものであり、密接に関連している。

解説

畜産クラスターとは
農林水産省が定める、日本の畜産農家をはじめ、地域の関係農業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のことです。

小松 正真 議員

遠野ふるさと商社・公社について

市長 公社と商社が一緒になる 今が新たなスタート

問 風の丘・伝承園の分社前当初計画に對しての実績は。

市長 令和4年度計画値1,900万円黒字、実績値は3,800万円。

問 水光園・ふるさと村の計画に對して実績は。

市長 令和4年度計画値収支均衡、実績値1,400万円赤字。この2施設には注力されていなかった。

問 分社という手法は成功だったか、失敗だったか。

市長 私であれば分社という手法は取らなかった。分社は資金繰りのためにやったとしか思えない。分社という手法は、抜本的な改革にはつながらなかった。

問 この3年間で、改革のために使われた予算の検証は。

市長 風の丘の改修等もあり評価することが難しい。改修を行えば売上は上がるので、何の影響があつて売上が上がったかは判断ができません。ただ、経営体

制等十分かと言われるば十分ではない。

問 登記簿に記載されているふるさと商社の設置目的が全く達成されていない。市民の声を聞き、今後の改革に活かすべきと考えるが市長の見解は。

市長 市民の意見を聞くというのは、これに限らず当然のことだと思ふ。私もお客様への配慮等で気が付いたところは指摘している。市内の様々な団体と横の連携を密にしている。ふるさと公社をふるさと商社が吸収する今が、新しいスタートだと考えている。

問 本当の意味でふるさと商社が自立しなくてはいけない時である。自立に向けた市長の考えは。

市長 もっともつと各施設のレベルを上げていくにはいけない。市民の憩いの場として、観光の目的として有意義にしていくためには、地域の皆さまの理解と協力を今まで以上にいただかないとできないと思つている。そして、

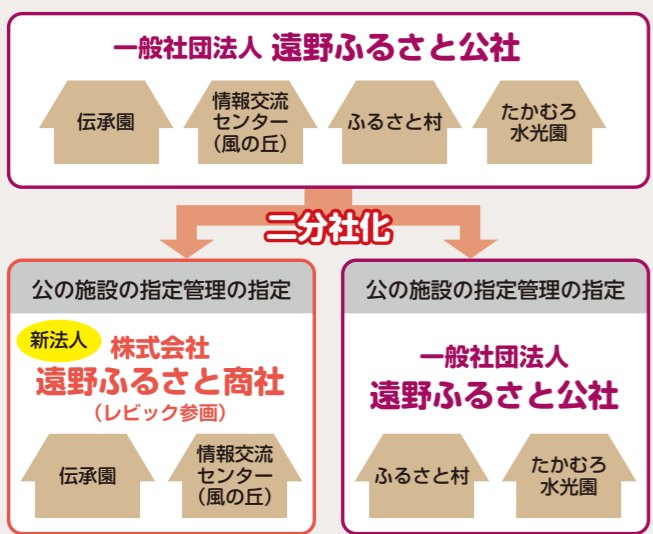
解説

ふるさと公社これまでの経緯

令和2年6月定例会において、遠野ふるさと公社を二分社化する等の議案が可決。

厳しい経営状況が続く公社の抜本的な経営改革の取り組みについて議論を交わした。

商社には、全国各地で地域経済の再建、事業再生の成果をあげている地域経済活性化支援機構（レビック）が参画し、収益性の高い2施設の経営改革を先行して進め、3年後に公益性の高い公社の2施設を事業継承することとなった。



設計が悪いのか？導線が悪い風の丘

ある時点では、しっかりと投資をしていかなければいけないと考えている。

釜石線の存廃

市長 JR 東日本盛岡支社は「廃止しない」と明言

問 情報が少ない。遠野駅舎に関する状況は。

市長 既存駅舎の活用を含む3案がJR側から改めて示されたところである。

問 釜石線の現状は。

市長 年間約25億円の赤字。

問 「利用しないが駅舎を残せ。利用しないが鉄道維持を求む」では話が進まない。

市長 採算や収益だけを基準に便数や路線を削減したことによって、人口減少、地域経済の衰退、過疎化の悪循環を招いた地方もある。存続に向け、どのような方針で最適な戦略を導き出し、望ましい解決策を見出そうと考えるか。

市長 このまま利用の低迷が続いた場合には、将来的に廃止の選



鉄道事業者任せだけでは、もはや立ち行きません。私たちも、もっと釜石線を利用しましょう。

択肢が示される可能性も十分に考えられる。路線維持を求めめるには、市民の日常における利用促進を図っていくことも必要。引き続き県や沿線自治体と連携しながら、これまでの検討内容をより具体的なものにしていく。隣接する花巻市、住

田町、釜石市を結ぶ広域的な路線であり、市民にとって重要な移動手段。存続に向けた対策を講じる。

問 一般財源の支出も辞さない考えか。

市長 大事なこと。具体的な取り組みを見出したい。

戦没者慰霊碑・ 忠魂碑の 維持管理

問 市内27基の状況は。

市長 経年劣化はあるが、いずれも粗末にされているという状況はない。

問 多様な歴史観や宗教観があるが、継承について踏み込んだ議論が必要ではないか。

市長 行政ができることは少なくないはず。考えを伺う。

市長 日本人なら知らないふりはできない。方向性をしっかりと決めるべきである。お金はその次。それぞれの遺族会の意思を尊重することが大切。その上で、担当課を交えながら市遺族連合会で意見を取りまとめ、今後の方針を決めていただきたい。スタートを切るべき時期であるということはおっしゃりたい。

解説

釜石線の利用状況 (令和3年度末時点)

区間名	輸送密度 (一日当たりの平均利用者数)
花巻～遠野	644人
遠野～釜石	339人

JR 東日本が公表している路線別収支データより

1980年国鉄再建法により、輸送密度4,000人未満はバス輸送が効率的であるとし、対象路線は廃止、または他の輸送手段に転換された。

当時、釜石線は「平均乗車キロが30キロメートルを超え、輸送密度が1,000人/日以上」に該当することから、廃止から除外された。

昆明美 議員

農業生産額の回復を目指した 取り組みは

市長 外的要因に左右されない農業が肝要

問 農業生産額の回復と元気な農業を目指した取り組み状況は。

市長 外的要因に左右されない農業への取り組みが肝要。4つの実現目標、農地を生かすまち、みんながいきいき就農するまち、地域特性を活かしブランド化が進むまち、六次産業化に取り組みまち、これらの実現のために4名のアドバイザーを配置し、施策に取り組んでいる。

問 農業生産額回復に向けた課題と方策について。

市長 生産者の高齢化と減少、大雨などの異常気象や鳥獣被害、そしてコロナ禍による需要の低迷に対し、地域ぐるみでどう取り組めるか。

従来の営農形式に固執せず、新たな参入を許容しながら、多様な農業の展開が必要不可欠である。

昨年度は、世界情勢の不安要因から、飼料等の高騰により、影響を大きく受けた。これからは、外的要

因に左右されない農業への取り組みも考えなければならぬ。

問 遠野市の基幹産業である一次産業を支えているのは、兼業農家と認識しているが、このことへの見解は。

市長 遠野市の農業は兼業農家が支えてきた一面もあると認識している。

遠野の農業を支えているのは、専業農家や地域の農業を担う認定農業者などの担い手や集落営農組織の役割が重要になってきているのもその通りである。

問 農業を生きがいのために営農している方も多い。

小規模農家が共同で機械を購入、利用するための支援策は。

市長 互助的なグループ化を積極的に相談し、計画していくことが必要である。

守るから全て補助ではなく、機械を有効に共同活用し、管理することが大事である。

アドバイザーという専門的な相談窓口もあ



遠野市の農業を支える兼業農家

り、行政がそれに寄り添うことが必要であると思う。

解説

各種施策についての専門のアドバイザー

- 地域活性化アドバイザー 新規就農者の育成事業
- 農業活性化アドバイザー 重点品目の生産支援
- 農地利用集積アドバイザー 農地利活用の推進
- 集落営農推進アドバイザー 集落営農の育成支援
- 林業振興アドバイザー 森林利活用の支援



高齢化等社会変化に伴う 介護の在り方は

市長 介護施設の職員数が不足、 介護福祉専門学校は必要と考える

問 人口減少の対策として、市営住宅の入居条件の緩和と併せ全国平均並みの賃金の支払をしては。

市長 市営住宅の入居条件に関しては整理して行く、賃金を上げることは同感である。企業にもお話ししている。

問 今どこに行っても話題になるのは人手不足、市長はその対策として海外から技能実習生の受け入れに努められているか。

市長 今はネパール等から、今度インドネシアから技能実習生を受け入れる予定である。

問 国の調査では要介護者と同居しての介護が半数以上とある、本市の実態は。

市長 家族親族が同居しての介護が65・9%となっている。

問 在宅介護の場合、介護者は仕事ができず経済的不安が避けられない。施設へ入所申し込みをしても待機者が多く入所ができない状況である。

市長 特養ホーム入居待機者は263人で



増傾向にあり、施設は増やさなければと考えている。

問 老人ホームや介護施設職員の離職が増え、休みが取れないと聞く。介護福祉専門学校の誘致等が必要ではないか。

市長 職員数は足りていない、専門学校は必要と考えている。

問 使い勝手が悪く利用率が低い外出支援サービス事業の範囲を近隣市まで広げては。

市長 社会福祉協議会及び市の外出サービス事業の統合等、今後の需要見込みを分析し見直しを検討する。



急カーブ中の勾配が逆勾配でスリップ事故が絶えない市道才の神線

宮守町の市道才の神線は人命保護の立場から部分的改修が必要では

問 道路パトロール業務を市役所OB等に委託は考えられないか。

市長 現在土木業者に委託している。

問 補修工事の優先順位は。

市長 状況判断に重きを置いていく。

問 市道才の神線の中

間点に位置する急カーブは逆勾配、また、ここから国道283号までの山側水路は、水のみ込めなく路面を流れ、ハイドロプレーニング現象を引き起こし危険。人命保護の立場から部分的改修が必要では。

市長 この件に関しては何度か議員から質問をいただきしっかりと記憶している。

担当課に対応策を検討するよう指示している。

解説

市営住宅の入居条件は、以下の全てを満たす方です。

- 1 入居者の所得が一定額以下であること。(入居者全員の年間所得の合計から扶養等を控除した額を12で割った額が158,000円以下。高齢者及び障がい者世帯等は214,000円以下)
- 2 現に住宅に困窮していること。(具体的理由を確認します。)
- 3 市税等の滞納が過去3年分ないこと。
- 4 申込者及び同居しようとする親族が暴力団員ではないこと。
- 5 市内に居住する連帯保証人が2人いること。



新田 勝見 議員

遠野市の特産品について 市長の考えは

市長 品質が良く、安定供給ができ、
消費者の信頼を得るものとする

問 ホップ栽培、わさび栽培、養殖ヤマメは、欠かすことのできない市の特産品と考える。市長の考える振興策について。
市長 課題は、ホップでは人手不足、後継者不足。持続可能な生産を目指すために、新規就農者育成事業や、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、確保育成に努めている。わさびの販売について、出荷量、出荷時期のデータを収集してトップセールスも含めて営業戦略をしっかりと立てれば伸びる。ヤマメについては、関係者と意見交換して方針、ビジョンを共有していくことが大事。イベント等のつかみどりは非常にいい。ブランド化も含め計画的に進めていくことが必要。

問 営農組合の組織化が進まないのはなぜか。マニュアルは。
市長 集落営農組織を作っていくための指針が書いてある。
問 農業者の高齢化はどんどん進み、このままでは遠野市の農地は荒れ放題になる。それを救う唯一の方法は営農組合であり法人化と聞いている。それに対する市の支援は全く進まない。危機感を感じられない。本気になつて相談、指導が必要と思うが。
市長 市としても集落営農、法人化は生命線であり、それをどうするかというところになっている。遠慮なく相談に来ていただき、一緒に考えていきたい。

営農組合の組織化



営農組合栽培の銀河のしずく

解説

集落営農組合とは

「集落」を単位として、専業農家・兼業農家等を含めた集落の農家の協力のもと、農業生産過程の全部又は一部について、共同で取り組む組織をいいます。

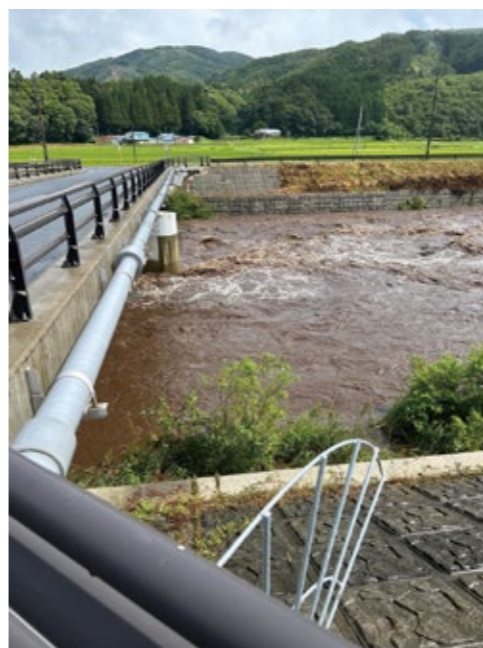
法人化のメリットは

家計と経営が分離され、経営管理が徹底される。財務諸表の作成の義務化により、金融機関や取引先からの信用が増す。幅広い人材の確保により、経営の多角化など事業展開の可能性が広がる。

社会保険等の適用による従事者の福利の増進。農家の後継者でなくとも、構成員、従業員のなかから意欲ある有能な後継者を確保することが可能。

大型化している 豪雨災害への備えは

市長 災害に備え、研修、訓練を
継続して実施している



8月12日 増水した河川

問 災害発生時の行政の対応は。
市長 災害発生時の対応は遠野市地域防災計画の災害応急対策計画により実施している。
問 災害リスクを把握するには。
市長 ハザードマップを参考にし、災害リスクを把握できると考えている。
問 防災力を強化する考えは。
市長 市内11地区で地区防災研修会を開催し、防災意識の向上に努めている。

問 ハザードマップの更新について考えているか。
市長 ハザードマップは平成29年8月に全戸配布。令和4年4月に小友町を除く各町に更新して配布している。160ヶ所の土砂災害が新たに発生するおそれがあるので、ハザードマップを更新する必要が出てくる。
問 河川、橋梁等の安全は。
市長 橋梁長寿命化に係る一巡目の点検が終了し、現在は、二巡目に入っている。今年度



8月12日 路面を流れる雨水

も3橋の補修工事を実施した。
問 避難路の安全確保は。
市長 生活に身近な道づくり事業計画を実施し、災害の発生時、予想される危険を把握しながら、適宜対処して安全を確保する。
問 減災の取り組みは。
市長 雨水を調整する田んぼダムや、開発許可に係る調整池、排水機能を維持する側溝の見直し等も大事だと認識している。
問 避難所開設や避難

の状況は。
市長 8月12日、午前8時30分、避難指示発令に伴い、指定避難所として市福祉センター、青笹地区センターを開設した。
問 大雨の被害状況は。
市長 幸い人的被害は無かったが、床下浸水のり面崩落、倒木、土砂流入等の被害を確認した。
問 自然災害対策にSDGsの取り組みを。
市長 SDGsは我々の社会生活に関連している。非常に分かりや

解説

SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。

2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた、2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されている。

（世界中にある環境問題、差別、貧困、人権問題といった課題を、世界のみならず2030年までに解決していく、という計画・目標です。）

すい目標と考えている。





消防団機関運用訓練の様子

どうなった？ あの提言

過去に定例会等で行った議会からの提言や要望が、その後どうなったのか、追跡を行う特集企画です。

今後の子育て支援全体の行方は 物価高騰、急激な保護者の費用負担を危惧

市長 シミュレーションと検証を進めていく

答弁 行政区再編検討の中で、消防団との意見交換重ねたい。

団員が減少し、高齢化が進む中で、小さな拠点づくりの説明会においても市民から同様の意見をいただいた。
消防団再編準備委員会を組織し意見交換を重ねながら、他市町村の状況をふまえて検討している。

提言 消防団員の処遇改善を検討すべき

世代交代のためにも処遇の見直しが必要ではないか。国も見直しを進めているが、消防団に対し、予算の仕組み等十分な情報提供により報酬や処遇改善など納得のいく方向性を示すことが必要ではないか。
令和3年6月 定例会等

経過 消防団再編準備委員会での検討実施

市内行政区再編に伴う小さな拠点づくりを進める中で、消防団組織の再編に合わせて現場の意見を聴取している。
各町分団内の「部」再編ならびに消防団員の出勤報酬及び年額報酬について協議された。

結果 消防団員の出勤報酬及び年額報酬改定

消防団員の出勤手当に代わって出勤報酬制度を令和4年4月に創設した。
・火災、風水害等出勤報酬：1回4,000円（1時間ごとに1,000円加算）
・警戒活動、各行事、訓練：1回2,000円
消防団員の年額報酬を令和5年4月に改正した。
・団員報酬：年額36,500円（改正前23,100円から13,400円の増額）

ひとこと

消防団員の報酬や手当を引き上げていただいたことに感謝いたします。

遠野市民の安全、安心を守るため、日頃から火災予防や防災活動に取り組んでいる遠野市消防団に、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。



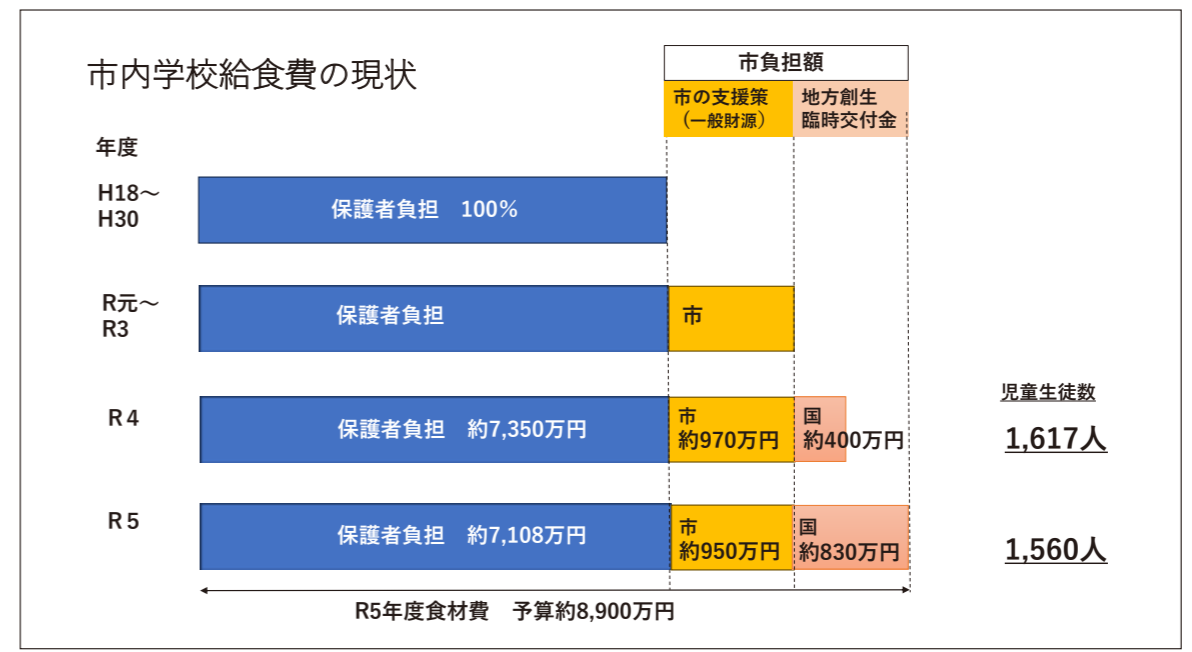
遠野市消防団 団長 阿部 和美 さん

市長 就学前の子育て保護者の費用負担の軽減は。保育所利用に係る副食費無償化、今年度から第2子以降の保育料無償化と在宅育児支援金を支給している。子育て世帯への直接的な経済的支援策とあわせて、保育士の処遇改善や保育所等に対する運営費補助等の間接的な取り組みで、就学前の子育て支援の充実を図っていく。
市長 就学以降の子育て保護者の費用負担の軽減は。放課後児童クラブについて、利用料は全施設無料である。これは県内14市で、唯一の取り組みである。令和4年度の運営にかかる費用として、1億1741万6000円を支出している。
市長 給食費は17年間値上げがない。市の負担の状況は。学校給食法により、学校給食全体の経費のうち、食材の購入分を保護者が負担するものとなっている。

市の子育て支援策と国の地方創生臨時交付金の活用により、およそ2割を負担している。
市長 今後の子育て支援全体の行方は。無駄の整理、出費の見直しで、学力向上やグローバルに育つ環境づくりを予算化してきた。市の財政バランスのシミュレーションを行い、しっかりと持続できる体制にしなければいけない。今後の事業の優先順位をみんなど考えなくては行けない。
市長 子育て支援のシミュレーションを早めに行い、市民の皆さんに開示して、急激な費用負担を危惧する保護者の不安軽減に努めるべきでは。
市長 急激な保護者の費用負担は予測していないが、全体的な環境やその他、財政と子育て支援に関する各シミュレーションと検証を進めていく。

解説

放課後児童クラブとは
主に共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供して、健全な育成を図る施設です。
一般的に「学童保育」と呼ばれている施設で、法律上の名称は「放課後児童健全育成事業」です。
遠野市では、小学校区全11カ所に児童館、児童クラブを設置し、放課後における児童の居場所環境の充実を図っています。



市内学校給食費の現状



市政調査会報告

7月20日、市内誘致企業であるS M C (株)第2工場と、(一社)遠野市畜産振興公社の現状を調査するため現地視察を行った。

S M C (株)遠野工場では、現在、約800人が勤務しており、隣接する敷地で進められているサプライヤーパーク整備工事が2年後に完成した際には、約500人増員予定とのこと。

遠野馬の里では競走馬育成厩舎に在る受託の馬は、5月時点では20頭だったが、45頭まで増えていた。岩手競馬と良好な関係が築けているようであった。



サプライヤーパーク完成予想図

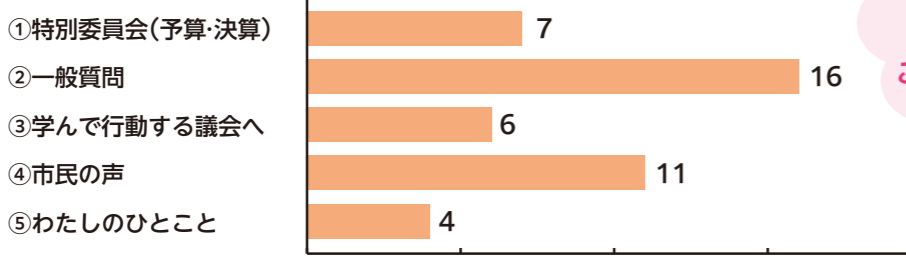
※サプライヤーパーク合理的にコスト削減や品質改善等図るため、仕入先や供給元の各業種を集積するもの

議会だよりリニューアルに向けたアンケート調査結果

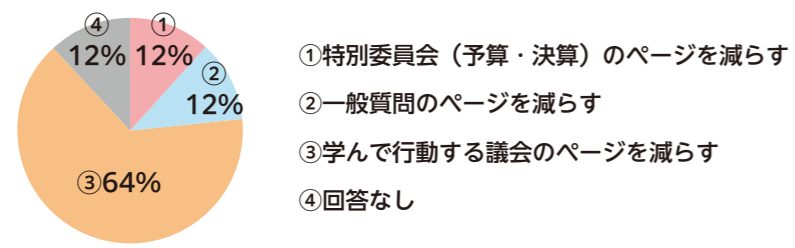
ご協力ありがとうございました!

調査期間 令和5年7月20日～8月31日
 調査件数 17件(オンライン16件、はがき1件)
 募集方法 オンライン、郵送、FAX

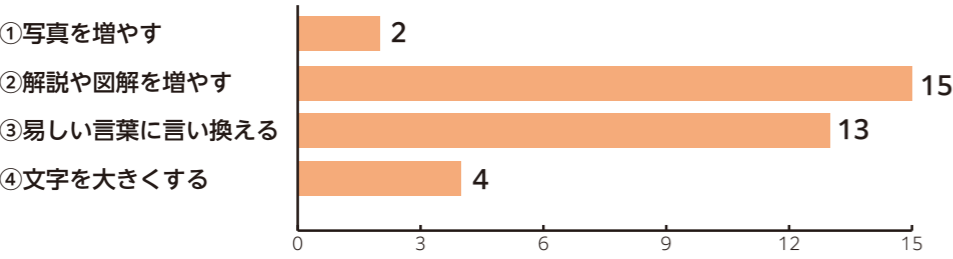
Q1 議会だよりで興味のある記事は？(複数回答可)



Q2 今後、企画や特集記事を追加掲載する場合の紙面の見直しは？



Q3 こうなったら読みやすい、わかりやすい、と思うものは？(複数回答可)



アンケート結果を踏まえ、今回の議会だよりから、以下のようにリニューアルをしました。

- ・一般質問に解説コーナーを新たに設置
- ・市民からのひとことのコーナーを新たに設置
- ・レイアウトを見直し、特集記事を掲載

今後も、よりよい議会だよりを目指した紙面づくりをしていきます。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

退職後、ひとり暮らしの高齢者の方の援助を行っています。会話の中心は「暮らし」の事が多いです。利便性だけでなく、子どもから高齢者までひとりひとりが支えあえる遠野で生活し続けたいと思います。宜しく願い致します。(遠野町、60代)

議員の方の考えや、遠野市で今どんな問題があるのか、どんな事をしていこうとしているのかが分かりやすく、4人の子どもを育てる親として、学ぼうと思ひ読んでおります。(松崎町、40代)

字のサイズなど工夫されていて、非常にわかりやすかった。ただ、話し合った結果のみを見せるのではなく、それを遠野市として今後どのように計画して、実行していくのか、その後の計画が表などにまとめられているとさらに現実味があっているのではないかと思います。(遠野町、20代)



政務活動費を公表します

令和4年度(改選後)政務活動費執行状況(令和4年11月～令和5年3月)

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を公表します。交付額は一人につき2万5千円(月額5千円)で、執行率は92%でした。

議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費分支出額	執行率
1 千田 由美子	25,000			31,000		31,000	25,000	100%
2 菊池 美之	25,000				26,000	26,000	25,000	100%
3 菊池 忠信	25,000	35,940		5,469	21,094	62,503	25,000	100%
4 昆明 美	25,000			28,266	3,850	32,116	25,000	100%
5 宮田 勝美	25,000	35,940				35,940	25,000	100%
6 小松 正真	25,000		18,050		7,330	25,380	25,000	100%
7 佐々木恵美子	25,000					0	0	0%
8 菊池 浩士	25,000			8,549	16,750	25,299	25,000	100%
9 佐々木敦緒	25,000			3,198	23,387	26,585	25,000	100%
10 小林 立栄	25,000	16,209	500	3,804	5,500	26,013	25,000	100%
11 菊池 美也	25,000	16,979	5,569	1,925	5,510	29,983	25,000	100%
12 瀧本 孝一	25,000		4,500	4,293	21,615	30,408	25,000	100%
13 菊池由紀夫	25,000			25,507		25,507	25,000	100%
14 佐々木大三郎	25,000			15,820		15,820	15,820	63%
15 新田 勝見	25,000	35,940				35,940	25,000	100%
16 荒川 栄悦	25,000		18,050		9,460	27,510	25,000	100%
17 多田 勉	25,000	35,940				35,940	25,000	100%
合計	425,000	176,948	46,669	127,831	140,496	491,944	390,820	92%

定例会の予定

12月定例会

月	火	水	木	金	土	日
	11/28	29	30	12/1	2	3
	本会議(開会)	委員会調査	議員全員協議会	議案調査	休会	休会
4	5	6	7	8		
一般質問		特別委員会		本会議(閉会)		



このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

わたしのひとこと

田中 克弥 さん (土淵町)

遠野で生まれて、遠野で育ち、2年ほど県外に住んでおりましたが、ほとんど遠野で生活しております。

遠野まつりも大盛況で終わり、稲刈りが始まっております。遠野まつりもしばらく参加しておりませんが、7年前から参加して思いましたが、踊り手も観客も少ないなと感じておりました。地域の会議や行事にも参加しておりますが、常に人手不足が必ず議題に上がる現状を寂しく思っております。行政に関わる皆様もこの問題について様々な議論が出されていると思います。自分自身に出来ることはあまりないのかもしれませんが、様々なイベントなどに参加し、そのお手伝いなどをしていけたらと考えております。

新型コロナウイルスの流行もだいぶ落ち着いてきて、これからますますイベントなどが増えてくることでしょう。楽しみです。

発行責任者／遠野市議会議員 多田 勉
編集／広聴広報常任委員会
〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号
TEL 0198-62-2111

遠野 議会だより

クイズ

欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 高校魅力化サポート事業の成果で県外から〇名の入学者があった。
- その② 令和4年度は「遠野の未来に向けた〇〇予算」
- その③ 今回の議会だよりから始まった特集企画は「どうなった?あの〇〇」

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、オンライン(下のQRコードから)、またはハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。なお、ご意見等は議員全員で情報共有しています。また、必要に応じて市担当部署に情報提供しています。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

右のQRコードから、クイズ回答フォームにアクセスできます。(利用者登録不要)



《あて先》〒028-0592 遠野市中央通り9番1号
遠野市議会事務局 宛

《しめきり》令和5年11月3日(金) (当日消印有効)

～議会だより74号クイズの答え～
その① 29 その② 2 その③ カップ

編集後記

天高く、馬肥ゆる秋。
空が澄み渡って晴れ、馬の食欲が増し、肥えてたくましくなる秋という意味です。

今年の夏は、今まで体験したことのない厳しい暑い日が続きました。馬に例えておりますが、私たちも秋の恵みに感謝をしながら、猛暑での疲れを旬のおいしい物を頂いて回復させたいものです。

遠野まつりがコロナ禍から4年ぶりに盛大に開催され、多くの市民の笑顔で遠野に活気が戻る機会となりました。子どもや若者が多く参加していることに感激しました。そして約60団体ある郷土芸能の素晴らしい改めに感動し、昔から守り続けてきた皆様方に感謝と敬意の思いでいっぱいとなりました。

広聴広報常任委員会では、手に取って読みたくなる紙面づくりに取り組んでいます。皆様のご意見等お寄せくださいますようお願い申し上げます。

(記)

- 広聴広報常任委員
- 委員長 小林 立栄
 - 副委員長 千田 由美子
 - 委員 菊池 美之
 - 委員 菊池 忠信
 - 委員 宮田 明美
 - 委員 勝美

ホームページ <https://www.city.tono.iwate.jp/>
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp
Facebook <https://www.facebook.com/tonoshgikai>
印刷/株式会社 東海印刷所



議会への提言をお待ちしております!